

第4回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

平成30年3月15日(木) 開催

今回は、主に在宅医療・介護連携や認知症対策の目指す姿の実現に向けた具体策の検討、来年度の運営方針について協議しました。協議の詳細については、市ホームページでご覧いただけます。

医療と介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができる

①在宅療養提供体制の構築

②医療・介護職の関係構築・資質向上

③連携ルールの策定・普及により関係機関の連携推進

④在宅療養・認知症に対する市民の理解の促進

⑤在宅療養・認知症に関する相談支援体制の整備

目指す姿の実現に向けた具体策の内容

※検討された具体策の一部を紹介します。

- ①在宅医療への取り組み推進に向け、緊急時の後方支援体制整備を検討する。
- ②病院を会場に、介護職が医療知識を学べる研修会を開催する。
- ③病院のソーシャルワーカーとケアマネジャーが入退院時の連携課題について話し合う機会を設ける。
- ④在宅看取りについての心構えを冊子にまとめて配布する。医療・介護の専門職の役割について、周知を図る。
- ⑤市民や関係機関に対して、相談窓口の周知が不十分なため、周知の推進を行う。

来年度の運営方針について、以下のとおり決定しました。

在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

認知症
対策WG

拡充
在宅医療・
救急医療
連携WG

多職種連
携研修企
画WG

新設
市民
啓発
WG

新設
入退院
時連携
WG

新設

(仮称) 病院長会議
目的：在宅医療の
後方支援体制につ
いて検討する。

各ワーキングメンバーにつきましては、4月以降に募集いたします。

今年度立ち上げた本協議会ですが、全日程(4回)を無事に終えることが出来ました。協議会の運営にあたり、委員推薦を頂いた関係機関の方々に改めて感謝いたします。また、ワーキングメンバーとしてご協力くださった市内医療・介護職の皆様にも感謝しております。

来年度も引き続き協議会およびワーキングの運営にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

